

科目名		一般構造Ⅱ			
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	○
対象学科	建築デザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		建築物の構造の種類や基本的な仕組みを学ぶ科目で2年生ではS造、RC造を主体に学び、それぞれの構造の特徴や構成を座学や事例を通して学ぶ。			
学習目標 (到達目標)		建築物の構造の種類や基本的な仕組みを習得する。2年生ではS造、RC造を主体に学び、それぞれの構造の特徴や構成を習得し、2級建築士学科試験の科目範囲の合格点に達するための知識を習得する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築一般構造（学芸出版社） ②配布プリント			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鉄骨造-1 ①鉄骨造の特徴、構造形式		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
2	鉄骨造-2 ①接合部（リベット、普通ボルト、高力ボルト）		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
3	鉄骨造-3 ①接合部（溶接）		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
4	鉄骨造-4 部材の設計、各部の構造		①	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習	
5	鉄筋コンクリート造-1 ①コンクリートの特徴 コンクリートの強度		②	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
6	鉄筋コンクリート造-2 ①鉄筋の特徴 鉄筋コンクリート造の基礎知識		②	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習	
7	鉄筋コンクリート造-3 ①鉄筋の配筋計画		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
8	鉄筋コンクリート造-4 ①せん断補強筋比の計算		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
9	その他の構造 ①SRC造・補強コンクリートブロック構造 ②組積造・プレストレストコンクリート造		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
評価テスト等	取組姿勢			社会に出てからの実務や建築士試験を受験するときに不可欠な、建築一般構造について学ぶ。	
80 %	20 %	%	%	2	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			2年生ではS造、RC造について仕組みを中心に解説をし、小テストで理解度を確認しながら合格基準への到達を目標とする。		
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる			